

事務事業名	農林業政策推進事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2012- 999005				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 にぎわいと活力あふれる都市づくり		所属課室	農業振興課	課長名	築野 剛司				
			所属担当	政策推進担当	担当者名	依田 明子				
基本政策	基本計画体系	II	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	07	農林水産業の振興	01	01	一般	06	01	03	020	54
施策	12	生産を支える基盤の整備充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 農林業の6次産業化を推進する市長政策の具体化事業として、市が整備する集客拠点施設と連携する、民間の集客拠点整備や6次化サービスを提供するため、地域や市民団体による事業体を育成し、法人化による経営体制を強化するための支援施策。 また、農林商工行政で懸案となっている課題解決のための調査研究や、臨機応変、柔軟な対応による効果的な対応を行なう。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償金 5 手数料 324 普通旅費 5 調査研究委託料 350 特別旅費 442 その他委託料 1,344 消耗品費 262 その他原材料費 230 食糧費 16 計 2,978						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 農林業の6次産業化を推進する市長政策の具体化事業の研究 27年度活動予定 農林業の6次産業化を推進する市長政策の具体化事業の研究
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	農林業の6次産業化を目指す農家グループ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	法人化が実現する
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農林業の6次産業化が推進され、農業者の所得が向上し、地域経済が活性化する

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 法人化支援 回 イ 運営強化支援 回 ウ 課題対応 回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 6次産業化を目指す農家グループ グループ イ ウ
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 設立された法人数 法人 イ 運営が強化された団体 団体 ウ
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア H24以降6次産業化事業による売上げ 千円 イ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			600	100	100	100
		一般財源	千円	4,535	1,119	2,378	2,586	2,586	2,586
事業費計 (A)		千円	4,535	1,119	2,978	2,686	2,686	2,686	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	
		人件費計 (B)	千円	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	0
(A)+(B)		千円	5,627	2,211	4,070	3,778	3,778	2,686	0
活動指標	ア イ ウ	回	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
		回	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標	ア イ ウ	グループ	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0		
		法人	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0		
		団体	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
上位成果指標	ア イ	千円	0.0	1,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H24年度より、農林業の6次産業化を推進する市の政策を実現するため、市の集客拠点施設と連携する民間拠点を充実させ、魅力ある農業観光エリアをつくる。また、農林商工行政の課題に対応する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	生産に特化した農林業では所得が確保できず、離農が進んでいる。現在では、農林業の6次産業化による多様なビジネスモデルを展開し、農林業に関わる人の所得を増やす必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	成果が期待されている。支援を行なっている団体からは、感謝されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H24年度6月議会にて承認されて、事業が開始された。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	南アルプス山麓・フルーツ劇場プロジェクトの事務局について、南アルプス完熟農園に引き継ぐための調整を行い、了承を得た。削減した人件費は、部内政策推進事務に充てる。

事務事業名	農林業政策推進事業	所属部	農林商工部	所属課	農業振興課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農林業の振興による、地域活性化事業である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市が積極的に関わることで、農林業の6次産業化を推進し、魅力ある地域づくりを行い、集客による経済効果を期待すると共に、地域のバリューアップを図り、ブランド確立に寄与する。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 農林業の6次産業化を推進する市長政策の具体化事業の研究であり、見直す必要なし。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 農業の6次化加工品のセミナー開催や担当職員の研修によりさらに成果の向上が見込まれる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市の集客拠点と連携する拠点が少なく、魅力的で滞在したい地域が作れない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ふるさと愛プロジェクトの成功が困難になる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 農林業の6次化の推進を市の施策にて進めており削減できない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 正規職員が時間を惜しまず地域や市民との信頼関係を築くことが最も重要。 対象者に信頼される、信頼性の高い専門家の支援導入など、成果と人件費等のコストは比例する事業である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域で農林業関係者の所得が向上する成功事例を積み上げることが重要。事業初期の段階において、成功事例が出来た場合に、市の支援に対して不公平の批判が生じる可能性があるが、公平性を確保するため、1つも成功事例が出来ないことのないように取り組み、波及効果による地域全体の底上げを狙っていく。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業費を有効に使い、地域や市民団体を巻き込み底辺の拡大と、JAや商工会とも連携しての事業展開に努める。そのための人材育成や人材活用は必須である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					